

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年1月12日（水）

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリアW1

3 確認項目

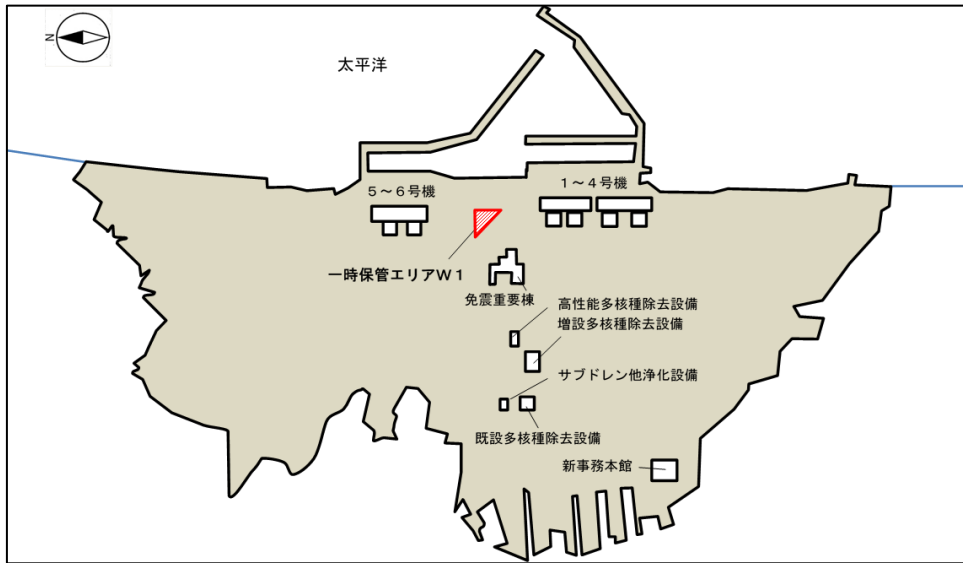
瓦礫類一時保管エリアW1における収納容器のシート養生状況

4 確認結果の概要

昨年3月に瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）W2に保管されていた収納容器（コンテナ）から放射性物質が漏えいした事象が確認され、昨年7月～8月には一時保管エリアP2、X及びW1に保管されていた収納容器（ノッチタンク）の一部に蓋のずれや天板に穴があることが確認された。これらを踏まえ、東京電力では飛散抑制対策（容器収納、シート養生）が必要な瓦礫類を保管している収納容器の仮設シート養生を実施し（ノッチタンク：8月24日完了 コンテナ：9月28日完了）、仮設シート養生完了後、本年3月完了を目途に本設シート養生を実施するとしていることから、飛散抑制対策が必要な瓦礫類を保管しているエリアの一つである一時保管エリアW1における収納容器のシート養生状況を確認した。

（図1）（前回確認日：令和3年8月16日）

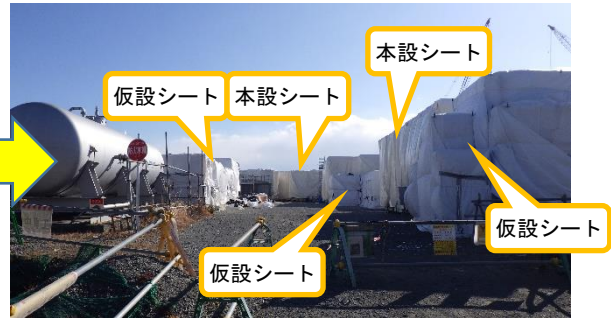
- ・エリアの西側、中央部及び北側に保管されている収納容器には仮設シート養生が実施されており、一部の収納容器は耐候性のある厚手のシートによる本設シート養生が実施されていた。（写真1）
- ・昨年8月に天板に穴があることが確認されたノッチタンクの養生は、仮設シートから本設シートに掛け替えられていた。（写真2）
- ・現地確認時には、ヤードの南側や東側において仮設シートから本設シートに掛け替えるために仮設のシートを外す作業が行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
一時保管エリアW1の状況①
(前回(令和3年8月16日)西側から撮影)



(写真1-2)
一時保管エリアW1のシート養生の
状況①
(今回(1月12日)西側から撮影)



(写真2-1)
一時保管エリアW1の状況②
(前回(令和3年8月16日)エリア北側
を西側から撮影)



(写真2-2)
一時保管エリアW1のシート養生の
状況②(今回(1月12日)エリア北側を
東側から撮影)



(写真3)
仮設シート外し作業の状況
(エリア東側を北側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。